

MPO4

取扱説明書

トライシステムズ株式会社

Rev1.4

安全にご使用いただくために必ずお読みください。

このたびはMP04をご買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本取扱説明書は当製品をご使用いただくための重要な情報が記載されています。
当製品をご使用する前に、この取扱説明書を熟読してください。



使用上ご注意

- 本取扱説明書はご使用いただく技術者の方々に正しい使用方法をご理解いただくためのものです。ご使用前には必ず熟読し、ご理解の上ご使用ください。
- 異常を感じたら直ちに使用を中止してください。煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに使用を中止し弊社まで御連絡ください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- カバーを外さないでください。感電の恐れがあります。
- 電源の入っている状態で各コネクタ類を触らないでください。感電の恐れがあります。
- 改造、分解をしないでください。火災、感電、故障の恐れがあります。
- 指定された箇所以外、内部のスイッチ類は触らないでください。感電、故障の恐れがあります。
- 本製品内部に金属などの異物が混入しないようにしてください。火災、故障の恐れがあります。
- 雷が鳴っているときに本製品やケーブルに触れないでください。落雷により感電する恐れがあります。
- アースは必ず接続してください。火災、感電の恐れがあります。
- 各種接続の状態をご確認ください。誤った接続をされますと故障する恐れがあります。
- 入力電圧は規格値以内でご使用ください。規格値を超えて使用しますと故障する恐れがあります。
- 本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な障害などが生じても、弊社では一切責任を負いかねますので、誤動作防止、安全設計などの万全を期されるようご注意願います。
- お読みになった後は、本取扱説明書を大切に保管してください。

目次
内容

	頁
1. 概要	3
2. 仕様・電気的特性	3
3. ブロック図	4
4. 各部の名称	5
4.1 DC12V接続用端子台(DC12V対応品のみ)	7
4.2 DC24V接続用端子台(DC24V対応品のみ)	7
4.3 DTEインタフェース(10BASE-T/100BASE-T)	8
4.4 回線接続用端子台(SEND、REC、FG)	8
4.5 LED表示	9
4.6 設定スイッチ(DSW1~3)	9
4.7 メンテナンスポート	15
5. LAN 伝送フォーマット	16
5.1 パケット構成	16
5.2 パケット種別	16
5.3 CDTデータアサイン	18
6. メンテナンスポートによる設定	20
7. 付属品	22
8. 接続できなかつたら	22
9. 無償保証期間	22

1. 概要

本製品は、ITU-T V. 23、FSK変調 200bps に準拠したアナログ専用回線用変復調装置(モデム)です。MP04-CDT では 200/600/1200bps の CDT 送受信機能を搭載しております。

2. 仕様・電気的特性

項目	仕様		
電源	MP04 B : DC12V (DC9 ~18V) MP04 C : DC24V (DC18~36V)		
適用回線	アナログ専用回線		
通信方式	4線式全二重通信方式		
通信速度・変調周波数	通信速度 (bps)	中心周波数 (Hz)	偏移幅 (Hz)
	200	$800+400 \times (n-1)$ $n=1 \sim 6$	± 100
	600	1200	± 200
	1200	1700	± 400
CDT 仕様	フォーマット	最大折返しワード/グループ	
	44 ビット	63W	
	40 ビット	4F15W	
	64 ビット	31G	
DTE インタフェース	RJ-45 10BASE-T / 100BASE-T		
送信レベル	-9 ~ -31 dBm [1dB ステップで設定可能]		
受信レベル	0 ~ -40 dBm		
キャリア断検出レベル	-48 dBm 以下でキャリア断検出状態		
キャリア検出レベル	-43 dBm 以上でキャリア検出状態		
ヒステリシス	2 dB 以上		
消費電流	DC12V : 200mA 以下 (Max) DC24V : 150mA 以下 (Max)		
使用温度	特性保証 : -10 ~ +50°C 動作保証 : -20 ~ +60°C		
使用湿度	20 ~ 90% (結露無きこと)		
絶縁抵抗	回線一括 対 FG DC250V 10MΩ以上 電源入力 対 FG DC250V 10MΩ以上		
絶縁耐圧	回線一括 対 FG AC2000V 1分間 電源入力 対 FG AC2000V 1分間		
外形寸法	201mm(W) × 45mm(H) × 156mm(D) (突起物含まず)		
質量	約 1.1 kg		
JATE 認定番号	D14-0044001		

3. ブロック図

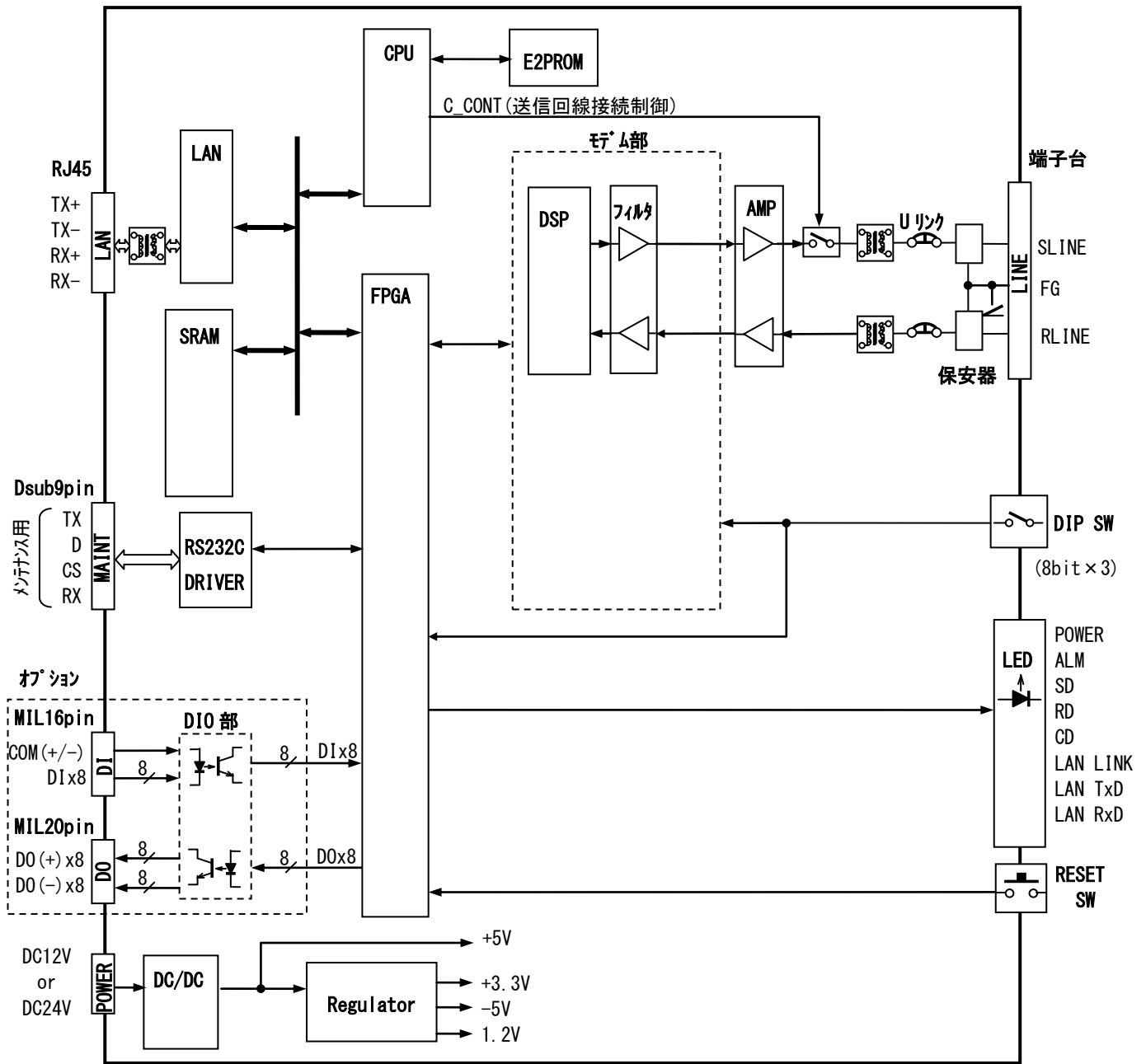
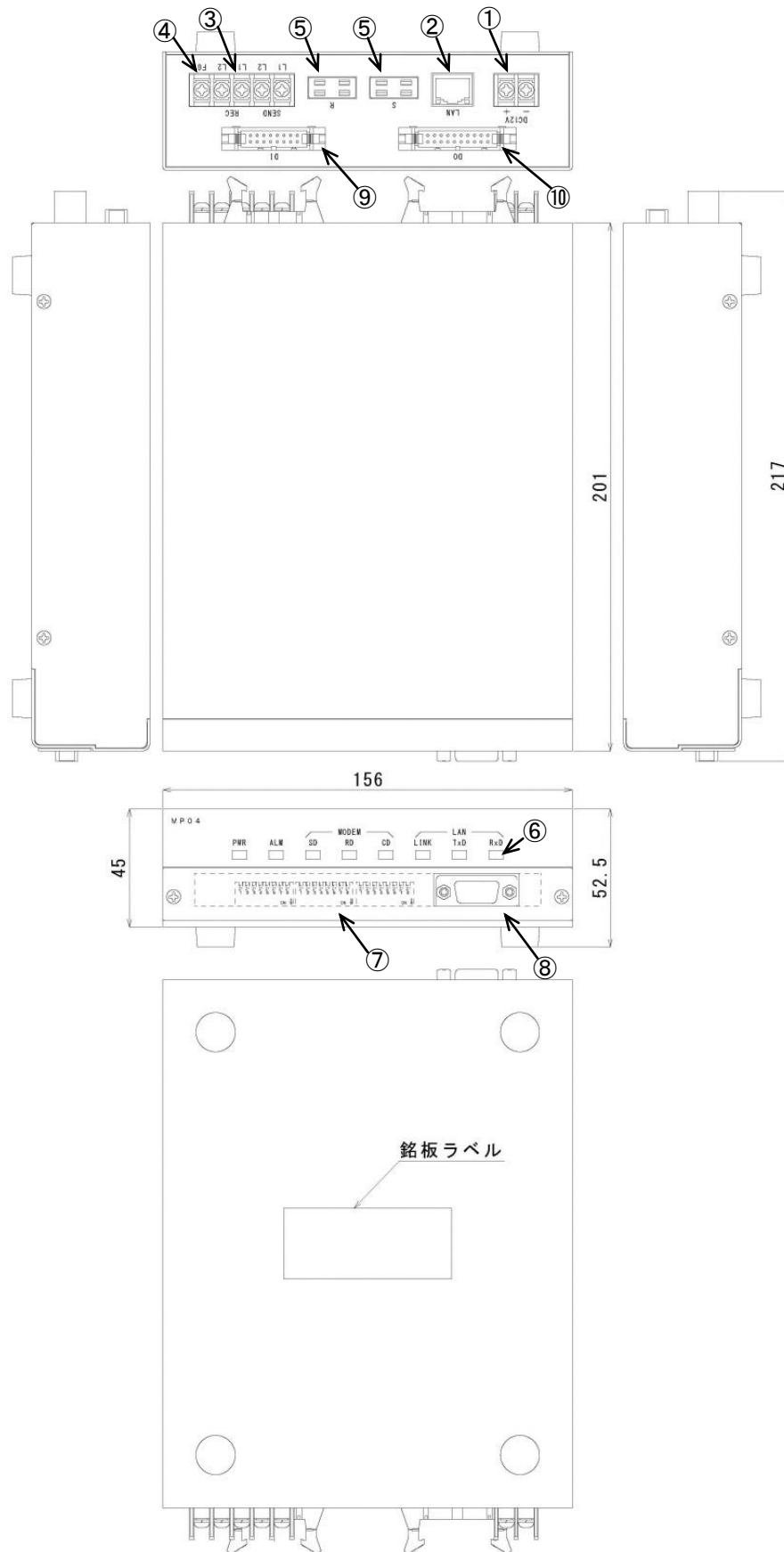


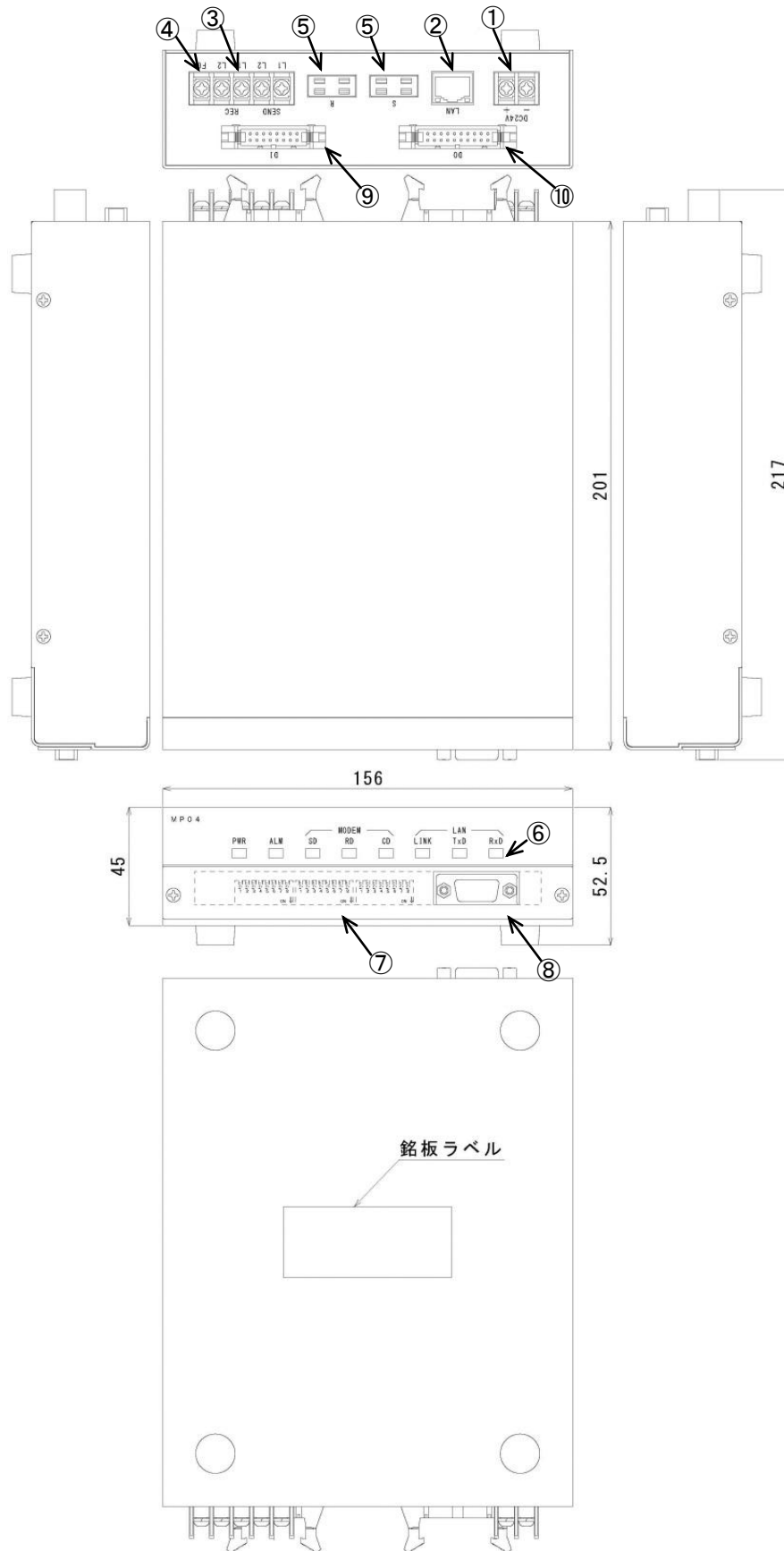
図 3-1 MP04 ブロック図

4. 各部の名称

■MP04B



■MP04 C



番号	名称	機能
①	DC12V入力	DC12Vを入力します。詳細は4.1項をご覧ください。
	DC24V入力	DC24Vを入力します。詳細は4.2項をご覧ください。
②	DTEインタフェース	パソコン等の機器を接続します。詳細は4.3項をご覧ください。
③	回線接続部	専用回線と接続します。詳細は4.4項をご覧ください。
④	FG端子	アースに接続してください。詳細は4.4項をご覧ください。
⑤	C1ジャック	レベルチェック、回線切断等に使用します。
⑥	LED表示	各動作状態を表示します。 詳細は4.5項をご覧ください。
⑦	設定スイッチ	表面のパネルを取り外すことにより、各種設定を行えます。 詳細は4.6項をご覧ください。
⑧	メンテナンスポート	シリアルポートでパソコン等を接続し、ネットワークやCDT関連の設定を行えます。 詳細は4.7項をご覧ください。
⑨	DI (オプション)	接点を入力します。 接点数8点(コモン共通)、無電圧A接点です。 (ケーブル側適合コネクタ:オムロン製 XG4M-1630)
⑩	DO (オプション)	接点を出力します。 接点数8点(コモン独立)、無電圧A接点です。 (ケーブル側適合コネクタ:オムロン製 XG4M-2030)

本製品は電源スイッチを搭載しておりません。電源ケーブルを接続するとすぐに通電します。

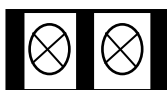
4.1 DC12V接続用端子台 (MP04 Bのみ)

DC12V接続用に端子台が用意されています。

各端子の接続先は下記の通りになります。

DC12V

— +



+ : DC12V (+) 側を接続してください。

— : DC12V (GND) 側を接続してください。

⚠ 接続先を再度確認してください。接続を誤ると火災、故障の恐れがあります。

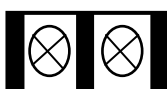
4.2 DC24V接続用端子台 (MP04 Cのみ)

DC24V接続用に端子台が用意されています。

各端子の接続先は下記の通りになります。

DC24V

— +



+ : DC24V (+) 側を接続してください。

— : DC24V (GND) 側を接続してください。

⚠ 接続先を再度確認してください。接続を誤ると火災、故障の恐れがあります。

4.3 DTEインタフェース（10BASE-T／100BASE-T）

DTEとの接続用に、RJ-45インタフェースコネクタが用意されています。
LANケーブルにてホストと接続してください。
ピンサインは下記の通りとなります。

信号名	ピン番号	信号方向	内 容
T x D+	1	DTE ← DCE	送信データ
T x D-	2	DTE ← DCE	送信データ
R x D+	3	DTE → DCE	受信データ
NC	4	—	
NC	5	—	
R x D-	6	DTE → DCE	受信データ
NC	7	—	
NC	8	—	

4.4 回線接続用端子台（SEND、REC、FG）

回線との接続用およびFG接続用に、端子台が用意されています。
各端子の名称と接続先は下記の通りになります。

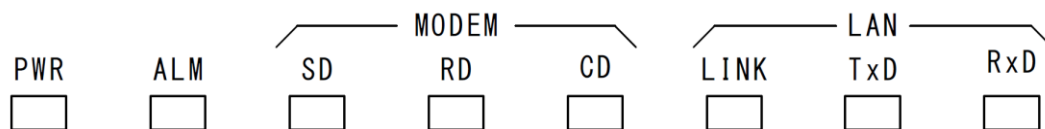
SEND REC
L1 L2 L1 L2 FG



SEND L1-L2端子 : 送信ライン接続用端子として使用します。
REC L1-L2端子 : 受信ライン接続用端子として使用します。
FG端 : アースに接続してください。

4.5 LED表示

本装置の電源ON/OFF、状態、モデム通信状態、DTEとの通信状態を表示します。



各LEDの状態は下記の通りとなります。

記号	名称	表示色	点灯条件
PWR	電源ランプ	緑	電源ONで点灯します。
ALM	アラームランプ	赤	本装置に異常がある場合に点灯します。※1
MODEM SD	モデム送信データ	緑	モデムのデータ送信時に点灯します。 (スペースで点灯)
MODEM RD	モデム受信データ	緑	モデムのデータ受信時に点灯します。 (スペースで点灯)
MODEM CD	キャリア検出	緑	CD信号がON時に点灯します。
LAN LINK	リンク確立	緑	LAN回線が接続されているときに点灯します。
LAN TxD	DTE送信データ	緑	LANのデータ送信時に点灯します。
LAN RxD	DTE受信データ	緑	LANのデータ受信時に点灯します。

※1：CDT通信異常およびDTE⇔MP04間通信異常も含まれます。

4.6 設定スイッチ (DSW1~3)

表4-1~表4-5に設定スイッチ(DSW1, 2, 3)による機能設定一覧を示します。

送信レベル、標準受信レベル設定は通信中にも設定変更が可能です。

それ以外の設定に関しては、設定後電源OFF/ONまたはリセットを行うと設定が反映されます。

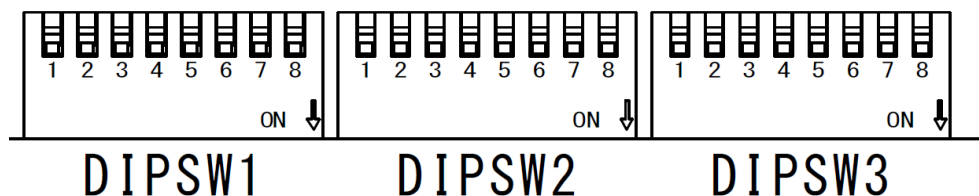


表 4-1 設定スイッチ (DSW1) による機能設定一覧

DSW1	機能説明	設定					
1 2 3 4 5	送信レベル 送信レベルを設定します。	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	送信レベル
		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	-9dBm
		ON	OFF	OFF	OFF	OFF	-9dBm
		OFF	ON	OFF	OFF	OFF	-9dBm
		ON	ON	OFF	OFF	OFF	-9dBm
		OFF	OFF	ON	OFF	OFF	-9dBm
		ON	OFF	ON	OFF	OFF	-9dBm
		OFF	ON	ON	OFF	OFF	-9dBm
		ON	ON	ON	OFF	OFF	-9dBm
		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	-9dBm
		ON	OFF	OFF	ON	OFF	-9dBm
		OFF	ON	OFF	ON	OFF	-10dBm
		ON	ON	OFF	ON	OFF	-11dBm
		✓					✓
		✓					✓
		OFF	OFF	ON	ON	ON	-28dBm
		ON	OFF	ON	ON	ON	-29dBm
		OFF	ON	ON	ON	ON	-30dBm
		ON	ON	ON	ON	ON	-31dBm
		<p><備考> 送信レベルを 0dBm 基準として、 [8]="ON" のとき、+1dB 減衰 [7]="ON" のとき、+2dB 減衰 [6]="ON" のとき、+4dB 減衰 [5]="ON" のとき、+8dB 減衰 [4]="ON" のとき、+16dB 減衰</p>					
6	最大送信レベル 最大送信レベルの設定をします。	OFF 固定			最大 - 9 dBm 出力		
7	未使用	OFF 固定					
8	メンテナンスモード 全面パネルのメンテナンスポート を使用してネットワークや GDT 関 連の設定を行います。	OFF : 通常動作 ON : メンテナンスモード					

表 4-2 設定スイッチ (DSW2) による機能設定一覧

DSW2	機能説明	設定															
1	未使用	OFF 固定															
2	未使用	OFF 固定															
3	未使用	OFF 固定															
4	未使用	OFF 固定															
5	モデムモード選択 モデムモードを設定します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[5]</th> <th>[6]</th> <th>モデムモード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200/600/1200bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>300bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>50bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>予約</td> </tr> </tbody> </table>	[5]	[6]	モデムモード	OFF	OFF	200/600/1200bps	ON	OFF	300bps	OFF	ON	50bps	ON	ON	予約
[5]		[6]	モデムモード														
OFF	OFF	200/600/1200bps															
ON	OFF	300bps															
OFF	ON	50bps															
ON	ON	予約															
6		なお、各モデムモードによって、SW2-7、SW2-8 および SW3 の設定内容が異なります。															

表 4-3 設定スイッチ (DSW2, DSW3) による機能設定一覧 (モデムモード 200bps/600bps/1200bps)

DSW2	機能説明	設定
7	未使用	OFF 固定
8	未使用	OFF 固定

DSW3	機能説明	設定																																																		
1	送信側伝送速度 (変調) モデム送信側の伝送速度を設定します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[1]</th> <th>[2]</th> <th>[3]</th> <th>[4]</th> <th>伝送速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH1)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH2)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH3)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH4)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH5)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH6)</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH6)</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>*X</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>600bps</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>*X</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>1200bps</td> </tr> </tbody> </table>	[1]	[2]	[3]	[4]	伝送速度	OFF	OFF	OFF	OFF	200bps (CH1)	ON	OFF	OFF	OFF	200bps (CH2)	OFF	ON	OFF	OFF	200bps (CH3)	ON	ON	OFF	OFF	200bps (CH4)	OFF	OFF	ON	OFF	200bps (CH5)	ON	OFF	ON	OFF	200bps (CH6)	*X	ON	ON	OFF	200bps (CH6)	*X	*X	OFF	ON	600bps	*X	*X	ON	ON	1200bps
[1]			[2]	[3]	[4]	伝送速度																																														
OFF			OFF	OFF	OFF	200bps (CH1)																																														
ON			OFF	OFF	OFF	200bps (CH2)																																														
OFF			ON	OFF	OFF	200bps (CH3)																																														
ON			ON	OFF	OFF	200bps (CH4)																																														
OFF			OFF	ON	OFF	200bps (CH5)																																														
ON			OFF	ON	OFF	200bps (CH6)																																														
*X	ON	ON	OFF	200bps (CH6)																																																
*X	*X	OFF	ON	600bps																																																
*X	*X	ON	ON	1200bps																																																
2																																																				
3																																																				
4																																																				
5	受信側伝送速度 (復調) モデム受信側の伝送速度を設定します。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>[5]</th> <th>[6]</th> <th>[7]</th> <th>[8]</th> <th>伝送速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH1)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH2)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH3)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH4)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH5)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH6)</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>200bps (CH6)</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>*X</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>600bps</td> </tr> <tr> <td>*X</td> <td>*X</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>1200bps</td> </tr> </tbody> </table>	[5]	[6]	[7]	[8]	伝送速度	OFF	OFF	OFF	OFF	200bps (CH1)	ON	OFF	OFF	OFF	200bps (CH2)	OFF	ON	OFF	OFF	200bps (CH3)	ON	ON	OFF	OFF	200bps (CH4)	OFF	OFF	ON	OFF	200bps (CH5)	ON	OFF	ON	OFF	200bps (CH6)	*X	ON	ON	OFF	200bps (CH6)	*X	*X	OFF	ON	600bps	*X	*X	ON	ON	1200bps
[5]			[6]	[7]	[8]	伝送速度																																														
OFF			OFF	OFF	OFF	200bps (CH1)																																														
ON			OFF	OFF	OFF	200bps (CH2)																																														
OFF			ON	OFF	OFF	200bps (CH3)																																														
ON			ON	OFF	OFF	200bps (CH4)																																														
OFF			OFF	ON	OFF	200bps (CH5)																																														
ON			OFF	ON	OFF	200bps (CH6)																																														
*X	ON	ON	OFF	200bps (CH6)																																																
*X	*X	OFF	ON	600bps																																																
*X	*X	ON	ON	1200bps																																																
6																																																				
7																																																				
8																																																				

表 4-4 設定スイッチ (DSW2, DSW3) による機能設定一覧 (モデムモード 300bps)

DSW2	機能説明	設定
7	ORG/ANS 300bps (V. 21) でのオリジネート、 アンサーを設定します。	OFF:オリジネート ON :アンサー
8	300bps (V. 21) テスト 300bps (V. 21) テストモードに設定 すると DSW2-7 で設定したモードで 自局折返しの通信が可能になります。	OFF:通常動作 ON :300bps (V. 21) テストモード

DSW3	機能説明	設定
1	未使用	OFF 固定
2	未使用	OFF 固定
3	未使用	OFF 固定
4	未使用	OFF 固定
5	未使用	OFF 固定
6	未使用	OFF 固定
7	未使用	OFF 固定
8	未使用	OFF 固定

4.7 メンテナンスポート

パソコン等のシリアルポートでの接続用に、RS-232Cインタフェースコネクタ（D-sub 9ピンオス）が用意されています。

ネットワークやCDT関連の設定を行います。

ピンアサインおよびシリアルポート設定は下記の通りになります。

信号名	ピン番号	信号方向	内 容
RXD	2	パソコン ← 本器	送信データ
TXD	3	パソコン → 本器	受信データ
SG	5	—	信号用グランド
*RTS	7	パソコン → 本器	送信要求
*CTS	8	パソコン ← 本器	送信可

*RTS、CTS:本器はRTSをCTSに折返し出力します。

[シリアルポート設定]

- ・ボーレート:9600bps
- ・データ :8bit
- ・パリティ :なし
- ・ストップ :1bit
- ・フロー制御:なし

5. LAN 伝送フォーマット

5.1 パケット構成

(1) 全体

AP ヘッダ 12	データ 0 ~
--------------	------------

(2) APヘッダ

LEN	CMD	SQN	予備 (日付時刻等)	予備
2	1	1	6	2

項	項目	内容
1	LEN	10 (AP ヘッダ長 - 2) + データ長 原則パケット種別ごとに固定長
2	CMD	パケット種別 0x10 : コントロール (DTE→MP04) 0x20 : ステータス (MP04→DTE) 0x30 : CDT 送信データ (DTE→MP04) 0x40 : CDT 受信データ (MP04→DTE)
3	SQN	シーケンス番号。パケット送信ごとにインクリメント
4	予備 (日付時刻等)	標準は立ち上げからの累計時間となります。
5	予備	

5.2 パケット種別

(1) コントロールパケット

項	項目	内容
1	LEN	14
2	CMD	0x10
3	データ部	全 4 バイト 1 バイト目 : DO 2 バイト目 : 予備 3 バイト目 : 予備 4 バイト目 : 予備
4	発行条件	特に規定していません。

DO

7	6	5	4	3	2	1	0
---	---	---	---	---	---	---	---

(2) ステータスパケット

項	項目	内容
1	LEN	14
2	CMD	0x20
3	データ部	全 4 バイト 1 バイト目 : DI 2 バイト目 : 共通ステータス 3 バイト目 : CDT 送信ステータス 4 バイト目 : CDT 受信ステータス
4	発行条件	定周期 (設定情報) およびステータス状変時

DI

7	6	5	4	3	2	1	0
---	---	---	---	---	---	---	---

共通ステータス

CDT パラメータ異常	—	—	—	—	—	—	—
-------------	---	---	---	---	---	---	---

CDT 送信ステータス

オープン	CS	—	—	—	—	—	—
------	----	---	---	---	---	---	---

CS : モデムの CS 信号状態

CDT 受信ステータス

オープン	回線断	同期不良	符号検定不良	情報更新不良	—	—	—
------	-----	------	--------	--------	---	---	---

(3) CDT 送信データ

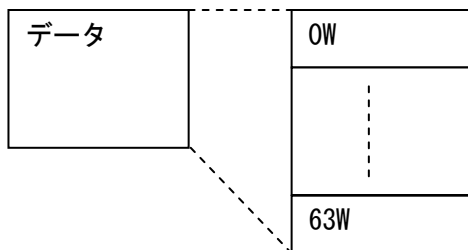
項	項目	内容
1	LEN	138
2	CMD	0x30
3	データ部	5.3 参照
4	発行条件	特に規定していません。

(4) CDT 受信データ

項	項目	内容
1	LEN	138
2	CMD	0x40
3	データ部	5.3 参照
4	発行条件	定周期 (設定情報) および SV・制御ワード状変時

5.3 CDTデータアサイン

(1) データ部



(2) 44 ビット

・ワードアサイン

LAN	CDT
0W	同期 ("0" データ)
1W	データ 1W
2W	データ 2W
---	----
31W	データ 31W
32W	同期 ("0" データ)
33W	データ 33W
---	----
63W	データ 63W

・ビットアサイン

b15								b8							
V	F1	F2	S	800	400	200	100								
80	40	20	10	8	4	2	1								
b7								b0							

V : 0=データ無効、1=データ有効 (以下同様)

(3) 40 ビット

・ワードアサイン

LAN	CDT
0W	同期 ("0" データ)
1W	1F1W
2W	1F2W
---	----
15W	1F15W
16W	同期 ("0" データ)
17W	2F1W
---	----
63W	4F15W

・ビットアサイン

V	F1	F2	S	800	400	200	100
80	40	20	10	8	4	2	1

b15 b8
b7 b0

(4) 64 ビット

・ワードアサイン

LAN	CDT
0W	同期 ("0" データ)
1W	同期 ("0" データ)
2W	1GF
3W	1GB
4W	2GF
5W	2GB
---	----
31W	15GB
32W	同期 ("0" データ)
33W	同期 ("0" データ)
34W	17GF
---	----
63W	31GB

・ビットアサイン

V	F	S	"0"	800	400	200	100
80	40	20	10	8	4	2	1

b15 b8
b7 b0

6. メンテナンスポートによる設定

メンテナンスポートで設定可能な項目は下記の通りとなります。

設定は付属の設定用ソフトで行います。設定方法は設定用ソフト取扱説明書をご覧ください。

項	内容	備考
1	ローカル (MP04) IPアドレス	※7
2	サブネットマスク	※7
3	デフォルトゲイトウェイ	※7
4	リモート (DTE) IPアドレス	※7
5	ローカル (MP04) ポート番号	※6
6	リモート (DTE) ポート番号	※6
7	CDT送信 フォーマット：クローズ、44ビット標準、40ビット標準、64ビット標準	
8	CDT送信 折返しワード数 44ビット：1W～63W 40ビット：1F1W～4F15W 64ビット：1G～31G	
9	CDT受信 フォーマット：クローズ、44ビット標準、40ビット標準、64ビット標準	
10	CDT受信 折返しワード数 44ビット：1W～63W 40ビット：1F1W～4F15W 64ビット：1G～31G	
11	DI LAN送信：あり、無し	オプション ※3
12	DI CDT送信：あり、送信アドレス (00～3F)	オプション ※4
13	D0 ソース：無し、コントロールパケット、CDT受信	オプション ※5
14	D0 アドレス：CDT受信の場合のみワードアドレス設定	オプション
15	ホスト (DTE) アラーム監視タイマー 0～6000 単位100ms	※1
16	CDT受信データアップロード周期 1～6000 単位100ms	※8
17	ステータスアップロード周期 1～6000 単位100ms	※8
18	RCD断検出タイマー 0～6000 単位100ms	※1
19	同期不良検出タイマー 0～6000 単位100ms	※1
20	符号検定不良検出タイマー 0～6000 単位100ms	※1
21	情報更新不良検出タイマー 0～6000 単位100ms	※1
22	CDT送信 ワード種別：TM、SV、制御、2W連結1W目、2W連結2W目、空	※2
23	CDT受信 ワード種別：TM、SV、制御、2W連結1W目、2W連結2W目、空	※2

※1：監視なしの設定が可能です。

※2：制御は 44 ビット標準でのみ指定可能です。

個別ワードの要素を確定できない場合は特殊な処理を行わない TM に設定してください。
受信側で SV または制御を指定すると該当ワードの受信時に状態を検出した場合、16 項のアップロード周期に関係なくホストへ CDT 受信パケットを送信します。

※3：本装置の DI 入力を本装置の LAN へ送信する機能です。

※4：本装置の DI 入力を CDT のビットに割り当てて送信する機能です。

※5：D0 に出力する信号を本装置の LAN(コントロールパケット)で受信するか、CDT で受信するかの選択を行います。

※6：“0”を使用しないでください。

※7：“0.0.0.0” および“255.255.255.255”を使用しないでください。

※8：周期なしとした場合でも状態時の送信を行います。

7. 付属品

本製品に付属されている物が全て揃っているかご確認ください。万が一不足がありましたら、お手数ですが、弊社までご連絡ください。

- ・ CD-ROM 1枚
記録内容：取扱説明書、設定用ソフト取扱説明書、MP04 CDT 設定用ソフト

8. 接続できなかつたら

製品の状態を確認し、各項目について再度ご確認ください。

- (1) POWER LED は点灯していません。
 - ・ 電源ケーブルは正しく接続されていますか。
 - ・ 使用している電源は規格通りの電源ですか。
 - ・ 電源に使用している接続線は定格を満足できる接続線を使用していますか。
 - ・ 上記を確認しても POWER LED が点灯しない場合は、すぐに使用を中止し、弊社までご連絡ください。
- (2) 表面 LED が点滅している。
 - ・ 本製品の異常が考えられます。すぐに使用を中止し、お問い合わせください。

9. 無償保証期間

- (1) 無償保証期間
無償保証期間は納入後 1 年です。(有償修理品の故障に対しては、同一部位のみ修理後 3 ヶ月)
無償保証期間終了後は有償での修理となります。
- (2) 無償保証につきましては、上記無償保証期間中、製品の使用環境、使用状態、使用方法などが取扱説明書に記載された諸条件や注意事項に従っていた場合のみに限定されます。
無償保証期間終了後は有償での修理となります。
- (3) 無償保証期間内であっても次のような場合には、有償修理となります。
 - ・ 納入後の輸送（移動）時の落下、衝撃などお客様の取り扱い不注意により生じた故障および損傷
 - ・ 取扱説明書に記載されている使用範囲外での使用による故障および損傷
 - ・ 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧、異常電流による故障および損傷
 - ・ 接続している機器に起因して本製品に生じた故障および損傷
 - ・ その他、お客様による故障および損傷または不具合の責と認められた場合
- (4) 次のような場合は無償、有償に関わらず修理をお断りすることがあります。
 - ・ 弊社以外で修理、改造等を行ったと認められる場合

ご使用に際して不明な点や技術的なご質問、また修理の問合せは弊社までご連絡ください。

トライシステムズ株式会社
電話番号 042-662-1071